



2022-09-26
No.22-052

報道関係各位

最適な広告掲出を目指し実証実験を実施 ベルーナドームに AI カメラ付き広告を設置 9/27 (火) 福岡ソフトバンクホークス戦/3D 広告も試験的に運用



AI カメラ付き 3D ホログラムディスプレイ広告



広告を設置するレフト側外野指定席入口

株式会社西武ライオンズ(本社：埼玉県所沢市、代表取締役社長：奥村 剛)では、NTT コミュニケーションズ株式会社(本社：東京都千代田区、代表取締役社長：丸岡 亨)と協業し、9月27日(火)にベルーナドームで開催する福岡ソフトバンクホークス戦におきまして、AI カメラ付きディスプレイ広告などを設置し、広告をご覧になるお客さまの属性データを取得して最適な広告の掲出を検討するための実証実験を実施いたします。

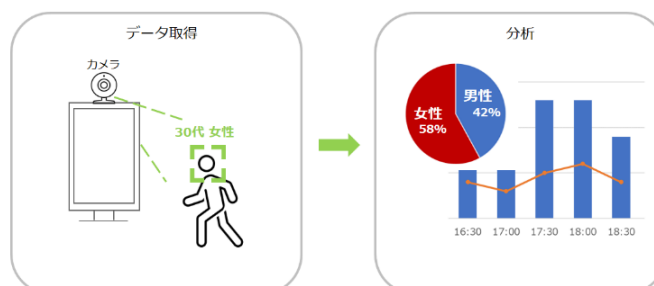
今回設置する広告に取り付けた AI カメラでは、ディスプレイなどに表示された広告を見たお客さまの性別や年齢のほか、見た時間の長さや時間帯別の人数などを取得し集計いたします。それにより、取得したデータに応じて配信する広告内容を変更したり、時間帯を設定したりすることが将来的に可能になり、お客さまにとって最適なタイミングで興味や関心の高い広告を配信することができるようになるほか、広告の掲出を検討されている企業さまにも広告効果をより詳細に検証いただくことができるようになります。

AI カメラ付き広告は、ベルーナドームのレフト側、ライト側の外野指定席入口付近にそれぞれ1台ずつ設置いたしますが、ライト側はロゴなどをプリントしたもの、レフト側は映像を立体的に表現できる 3D ホログラムディスプレイにする予定です。それぞれ同じ広告を同時に流すことで、広告を見る人の属性やプロフィールの違いなどを AI カメラと併せて検証いたします。

現在当社では、ベルーナドームの屋根や外野フェンスなどに掲出できる広告看板のほか、ユニフォームやヘルメットなどへの企業ロゴの掲出、座席などへの施設命名権(ネーミングライツ)などを協力企業さまに提供しております。今回、デジタル技術を活用した広告媒体を提供することで、お客さまがより好意的に協力企業さまに触れる機会を創出し、協力企業さまにとってより効果的な宣伝活動に生かしていただけることを期待しています。今後、実証実験で得られたデータを検証し、来シーズンの本格的な運用を検討する予定です。

当社は、今後もデジタル技術などを活用し、ファンの皆さまの利便性、安全性の向上に取り組み、新しい観戦体験を提供してまいります。

詳細は次頁のとおりです。



AI カメラ付きディスプレイ広告の活用イメージ

【AI カメラ付き 3D 広告 実証実験 概要】

日時	9 月 27 日(火) 福岡ソフトバンクホークス戦
内容	(1)ペルーナドーム内 2 か所に AI カメラ付き広告を設置(※1) カメラに映った方の表情や服装、体型、動きなどを元に性別や年齢などを判断し、広告を見ている時間やその時間帯などのデータを収集。 (2)ライト側にロゴをプリントした広告、レフト側に 3D ホログラムディスプレイ広告を設置(※2) 広告を見る人の属性やプロフィールの違いのほか、広告を見ている時間帯など、平面の広告と立体の広告でそれぞれ特徴が異なるかなどを検証。 
設置場所	AI カメラ付き ロゴをプリントした広告：ライト側 外野指定席入口 AI カメラ付き 3D ホログラムディスプレイ広告：レフト側 外野指定席入口
備考	・今回の実証実験ではお客さまの属性データを取得するのみで、リアルタイムで配信する広告を変更するなどの取り組みは実施いたしません。 ・本実験に関わるお客さまの個人情報は NTT コミュニケーションズ株式会社が取得し、当社はデータを取得・保管いたしません。また、取得したデータは本施策のみに活用し、その他の施策などには一切使用いたしません。本実験終了後、2 週間でデータは速やかに削除し、統計データとして取り扱います。

<※1：AI 顔認証ソフトウェア「SAFR®」について>

NTT コミュニケーションズ株式会社が提供する業界最高水準の認識精度と認識スピードを誇る AI 顔認証ソフトウェアです。ディープラーニングにより 1,000 万を超える顔データを学習しており顔認証のほかに、映像から個人を特定せずに属性の推定を行うことも可能です。

参考：<https://www.ntt.com/business/services/safr.html>

SAFR®は RealNetworks 社の登録商標です。

<※2：3D ホログラムディスプレイ「Dimpact® 3D Holo Vision」について>

株式会社 Droots(本社：東京都中央区、代表取締役：土井 大輔)が取り扱う 3D ホログラムディスプレイです。投映画像の直径により、最小 50cm～最大 100cm までの 3 種類がラインナップされているほか、これらを複数台マルチ連携させて合成映像を作り出すことで、より大きな 3 次元映像コンテンツを投映することも可能です。さらに、この投映機は Droots が開発した独自の無線通信型 3 次元映像管理システム「Dimpact® クラウド配信管理システム」に対応しており、送電鉄塔などに映し出す 3D 映像を、時間や場所、周知したい情報に応じて、遠隔から自由に切り替え操作や自動切り替えの設定を行えます。

参考：<https://droots.inc>

▼特許

発明の名称：コンテンツ表示機器 特許第 6676831 号 (Dimpact® クラウド配信管理システム)

▼商標

商標：Dimpact® (ディンパクト) 第 6401658 号

<参考：西武ライオンズと NTT コミュニケーションズの協業について>

埼玉西武ライオンズの本拠地であるペルーナドームにおける情報通信技術(ICT)を活用したスマートスタジアムの実現に向け、2021 年 2 月にパートナーシップ契約を締結いたしました。2021 シーズンから ICT などを活用し、ファンの皆さまの利便性、安全性の向上に取り組み、新しい観戦体験を提供してまいります。

【お客さまのお問合せ先】

埼玉西武ライオンズインフォメーションセンター TEL:0570-01-1950

一軍公式戦非開催日(平日 10 時～18 時)※一軍公式戦の開催がない土・日・祝は休日となります。

一軍公式戦開催日のナイターゲーム(10 時～20 時)／一軍公式戦開催日のデーゲーム(10 時～18 時)

※写真はすべてイメージです。